

# 大川水系流域治水プロジェクト【とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、大川水系においても、流域内のあらゆる関係者が協働して流域全体で対応する必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。



## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 【洪水氾濫対策】

- ・築堤、護岸整備、河道掘削（鹿児島県）
- ・河道掘削（奄美市）

### 【流水の貯留機能の拡大】

- ・大川ダムにおける事前放流の実施（鹿児島県、奄美市）

### 【土砂災害対策】

- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（鹿児島県）

### 【流出抑制対策】

- ・森林整備（鹿児島県）
- ・治山施設整備（鹿児島県）

事前放流(鹿児島県、奄美市)

築堤、護岸整備、河道掘削（鹿児島県）

河道掘削（奄美市）

## ■被害対象を減少させるための対策

### 【土砂災害対策】

- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進(ソフト対策)（鹿児島県）

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 【土地のリスク情報の充実】

- ・洪水浸水想定区域図の作成・公表（鹿児島県）

### 【防災情報、避難体制の検討・連携強化】

- ・マイ・タイムラインの作成・支援（鹿児島県）
- ・水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供（鹿児島県）
- ・水害リスクマップの運用（鹿児島県）

### 【防災学習の推進】

- ・出前講座・防災教育の実施（気象庁）
- ・防災ワークショップの実施（気象庁）

### 【地域の防災力向上】

- ・防災研修、出前講座等の実施（鹿児島県）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 大川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

- 大川では、流域全体を俯瞰し、県・奄美市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】大川の中流～下流域において、名瀬勝・朝戸集落等での重大災害の発生を未然に防ぐため、築堤・護岸整備等の河川改修事業を実施。大川やこれに流入する準用河川において、流下能力の向上を図るため、河道に堆積した土砂の掘削を実施。大川ダム（利水ダム）における事前放流の体制を構築し、水害対策に使える利水容量を確保。
  - 【中期】大川の中流～下流域において、引堤・護岸整備等の河川改修事業を主に実施。
  - 【中長期】大川の中流～下流域において、引堤・護岸整備等の河川改修事業を主に実施。防災学習、土地のリスク情報の充実、防災情報の連携、自主防災組織の強化等のソフト対策など、流域内の被害軽減を目指す。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策 (築堤、護岸整備、河道掘削)	鹿児島県	築堤、護岸整備		
	土砂災害対策	鹿児島県	河道掘削		
	治山施設の整備 森林の整備・保全	鹿児島県 関係機関	砂防施設の整備 等		
	洪水氾濫対策(河道掘削)	奄美市	河道掘削		
	流水の貯留機能の拡大	鹿児島県 奄美市	利水ダムにおける事前放流等の実施、体制構築		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策	鹿児島県	地域の防災力を高める警戒避難態勢の強化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県	洪水浸水想定区域図の作成・公表		
	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県 奄美市	自主防災組織等の強化		
	防災学習の推進	気象庁 関係機関	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供、水害リスクマップの運用 等		
	地域の防災力向上	鹿児島県	出前講座・防災教育の実施、防災ワークショップの実施		

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進